



# 感染予防に配慮した新しい排泄ケア

～利用者と介護者の健康と安全を守るために～

# 令和3年度介護報酬改定に関する審議報告の概要

## 令和3年度介護報酬改定に関する審議報告の概要

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図る。

### 1. 感染症や災害への対応力強化

※各事項は主なもの

■感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築

○日頃からの備えと業務継続に向けた取組の推進

- 感染症対策の強化 - 業務継続に向けた取組の強化 - 災害への地域と連携した対応の強化 - 通所介護等の事業所規模別の報酬等に関する対応

### 2. 地域包括ケアシステムの推進

■住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要なサービスが切れ目なく提供されるよう取組を推進

○認知症への対応力向上に向けた取組の推進

- 認知症専門ケア加算の訪問サービスへの拡充 - 無資格者への認知症介護基礎研修受講義務づけ

○看取りへの対応の充実 - ドレナジーの取組推進 - 施設等における評価の充実

○医療と介護の連携の推進 - 老健施設の医療ニーズへの対応強化

- 長期入院患者の介護医療院での受入れ推進

○在宅サービス、介護保険施設や高齢者住まいの機能・対応強化

- 訪問看護や訪問入浴の充実 - 緊急時の宿泊対応の充実 - 個室以外の定員上限の明確化

○ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保

- 事務の効率化による過減額の緩和 - 医療機関との情報連携強化 - 介護予防支援の充実

○地域の特性に応じたサービスの確保 - 過疎地域等への対応（地方分権促進）

### 4. 介護人材の確保・介護現場の革新

■喫緊・重要な課題として、介護人材の確保・介護現場の革新に対応

○介護職員の処遇改善や職場環境の改善に向けた取組の推進

- 特定処遇改善加算の介護職員間の配分ルールを柔軟化による取得促進

- 職員の離職防止・定着に資する取組の推進

- サービス提供体制強化加算における介護福祉士が多い職場の評価の充実

- 人員配置基準における両立支援への配慮 - ハラスメント対策の強化

○テクノロジーの活用や人員基準・運営基準の緩和を通じた

業務効率化・業務負担軽減の推進

- 見守り機器を導入した場合の夜間における人員配置の緩和

- 会議や多職種連携におけるICTの活用

- 特養の併設の場合の業務等の緩和 - 3ユニットの認知症GHの夜勤職員体制の緩和

○文書負担軽減や手続きの効率化による介護現場の業務負担軽減

の推進 - 署名・押印の見直し - 電磁的記録による保存等 - 運営規程の請求の柔軟化

### 3. 自立支援・重度化防止の取組の推進

■制度の目的に沿って、質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進

○リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の取組の連携・強化

- 計画作成や多職種関係会議でのリハ、口腔、栄養専門職の関与の明確化

- リハビリテーションマネジメントの強化 - 退院退所直後のリハの充実

- 通所介護や特養等における外部のリハ専門職等との連携による介護の推進

- 通所介護における機能訓練や入浴介助の取組の強化

- 介護保険施設や通所介護等における口腔衛生管理や栄養マネジメントの強化

○介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進

- CHASE・VISIT情報の収集・活用とPDCAサイクルの推進

- ADL維持等加算の拡充

○寝たきり防止等、重度化防止の取組の推進

- 施設での日中生活支援の評価 - 褥瘡マネジメント、排せつ支援の強化

### 5. 制度の安定性・持続可能性の確保

■必要なサービスは確保しつつ、適正化・重点化を図る

○評価の適正化・重点化

- 区分支給限度基準額の計算方法の一部見直し - 訪問看護のリハの評価・提供回数等の見直し

- 長期利用の介護予防リハの評価の見直し - 居宅療養管理指導の居住場所に応じた評価の見直し

- 介護療養型医療施設の基本報酬の見直し - 介護職員処遇改善加算（Ⅳ）（Ⅴ）の廃止

- 生活援助の訪問回数が多い利用者等のケアプランの検証

○報酬体系の簡素化

- 月額報酬化（療養通所介護） - 加算の整理統合（リハ、口腔、栄養等）

### 6. その他の事項

- 介護保険施設におけるリスクマネジメントの強化

- 高齢者虐待防止の推進 - 基準費用額（負費）の見直し

1

2

# コロナ・クラスター発生で予測される事象

## 利用者様の健康と安全を護る

- \* 利用者様の命を護りたい強い想い
- \* 介護理念と感染対策・対応との矛盾にも困惑

## 極端な人材不足・職員の心身のケア

- \* 陽性者・濃厚接触者の自宅待機による出勤率低下
- \* 少数のスタッフで長時間体制のケア
- \* 帰宅困難、情緒不安定、離職希望など職員のケア

## 提供できるケアの縮小

- \* 職員の出勤率により あらゆるケアが縮小

## 想定外の業務負荷

- \* 経営圧迫 近隣住民対応 他傷病の受診先探索 陽性者の搬送
- \* 清掃業者 設備管理業者 クリーニング業者、給食業者の一時サービス停止
- \* ACP（アドバンスケアプランニング）対応 など

※クラスターを経験され 既に詳細な情報を公表されている施設様、ご厚意でユニ・チャームが個別にヒアリングさせて頂いた施設様で実際に起きた事象をまとめております。

# Agenda

1. **新型コロナウイルス感染対策**  
～これだけは徹底しよう！～
2. **利用者・介護者を護る**  
**感染対策に配慮した排泄ケア**
3. **感染対策に配慮したおむつ交換**
4. **最後に・・・**

# Agenda

1. **新型コロナウイルス感染対策**  
～これだけは徹底しよう！～
2. 利用者・介護者を護る  
感染対策に配慮した排泄ケア
3. 感染対策に配慮したおむつ交換
4. 最後に・・・

# 飛沫感染対策には不織布マスク

新型コロナウイルスは飛沫対策が最も重要です！  
中でもマスクの装着、特に“**不織布マスク**”を徹底してください。

## 飛沫に対するマスクやシールドの効果

スーパーコンピューター「富岳」によるシミュレーション結果

**吸い込み飛沫量**  
(マスクなしと比較)

%

30



55~65



60~70



※小さな飛沫に対しては効果なし

※小さな飛沫に対しては効果なし

100

**吐き出し飛沫量**  
(マスクなしと比較)

%

20



18~34



50



80



90



100



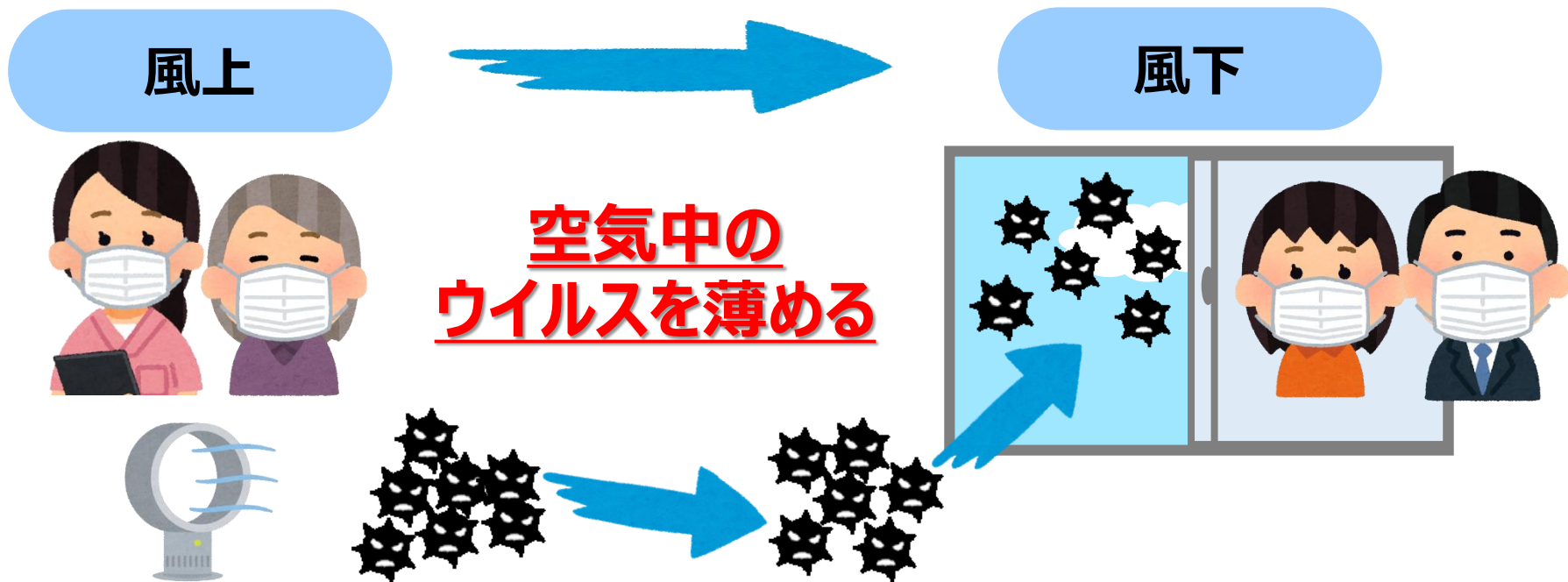
※参考DATA：豊橋技術科学大学プレスリリース\_2020年10月15日

\* 実験方法：各素材のマスクを着用した人頭モデルにミストと生成装置を接続し、飛沫の飛散状況をレーザー光を用いて可視化しカウント。  
吸い込み時の計測は実際に人がマスクを着用。小さな飛沫から大きな飛沫（直径0.3~200 $\mu$ m）まで計算。  
マスクは厚生労働省が示す正しい着用方法に基づき着用。

# 換気の重要性

飛沫感染・空気感染対策では“換気”も非常に重要です。  
ウイルスを薄めるための“気流”を意識して下さい！

職員・利用者様は**風上** → 外からの訪問者は**風下**へ



風の通り道 = **気流** を作る**換気**

- \* 窓を開けるだけではダメ！ 空気の流れをつくってください。
- \* 一方向しか開ける場所が無い場合は扇風機等で空気を外に流しましょう。

# 空気（エアロゾル）感染対策にはN95マスク

新型コロナウイルスでは陽性者が出た場合は、  
エアロゾル・空気感染対策としてN95マスクを徹底してください。

## “咳”をしている方には特に注意

“咳”をしている発症者との接触場面では、  
**N95マスク・ゴーグル・ガウン・キャップ・手袋**の  
フル装備が理想です。

※その他の使用場面

- ・麻疹・結核の患者との接触場面
- ・気管内吸引・気管内挿管・下気道検体採取などの診療場面



## N95マスクの特徴

- \* 着脱等における取り扱いが厳格化されており、事前にフィットテストを行う必要がある。
- \* 密閉性が高いため、長時間使用は難しい。

## 新型コロナウイルス 早期発見の目安

疑わしきは平熱 + 0.5度

判断難しいが利用者様の“隔離”も検討



# Agenda

1. 新型コロナウイルス感染対策  
～これだけは徹底しよう！～
2. **利用者・介護者を護る**  
**感染対策に配慮した排泄ケア**
3. 感染対策に配慮したおむつ交換
4. 最後に・・・

# おむつ交換削減による“ゆとり”の創出

## 人手不足・業務過多・変化への不安

- ・1人の介護者が何十人もの利用者様のおむつ交換を実施。
- ・おむつ交換頻度が多く、日中でも時間に追われている。
- ・過去からの慣れ親しんだ習慣を変えることへの不安がある。

## 感染予防・良質なケアの提供不足

- ・おむつの当て方や陰部洗浄などの**手技統一が図れない**。
- ・汚染された手でベッド柵など周囲の環境に**無意識で触れてしまう**。
- ・業務に手一杯で利用者様の観察を怠ってしまう。

3大ケア・感染予防の実施に向け  
**おむつ交換削減による“ゆとり”の創出**  
で健康と安全を護る排泄ケアを推進！



結果的に接触頻度の低減・PPE使用量の抑制にも繋がる

# 新型コロナウイルス流行に伴う 職員の出勤率低下の影響

出勤率低下に伴い、ケアの回数削減やケアが簡素化されることが特徴的です。

	出勤率90%	出勤率70%	出勤率50%	出勤率30%
口腔ケア	ほぼ通常通り	適宜介助	必要者はうがい	必要者はうがい
水分補給	ほぼ通常通り	ペットボトル配布・必要者に介助	ペットボトル配布・必要者に介助	ペットボトル配布・必要者に介助
食事	ほぼ通常通り	ほぼ通常通り	栄養補助食品等の活用	栄養補助食品等の活用
入浴	ほぼ通常通り	<b>適宜清拭実施</b>	<b>適宜清拭実施</b>	<b>特に保清必要な方に限定</b>
排泄	ほぼ通常通り	<b>おむつ交換 3回</b>	<b>おむつ交換 2回</b>	<b>おむつ交換 2回</b>
機能訓練	ほぼ通常通り	褥瘡・拘縮予防実施	褥瘡・拘縮予防実施	休止
マッサージ	ほぼ通常通り	緊張をほぐす目的で実施	休止	休止
清掃	ほぼ通常通り	感染対策による清拭	感染対策による清拭	感染対策による清拭
洗濯	ほぼ通常通り	必要最低限	使い捨て商品対応	使い捨て商品対応
シーツ交換	ほぼ通常通り	<b>順次・部分的に交換</b>	<b>汚れが目立つ時</b>	<b>罹患者優先</b>

※実際にクラスターを経験された近畿圏特養A様に監修頂き作成

# 有事を見据えた準備

新型コロナウイルスからの学びを活かし、有事の際に現場で混乱しないためにも、今後は平時から有事を見据えた準備が大切です。

## 有事の際に起きうる事・心掛けること

最低限で業務をまわすため、**ケアの回数減少**

ヒューマンエラーを防ぐため、**1回当たりのケアは慎重な手技のもと実施**

ウイルス徹底排除のため、原則に基づき**物品は使い捨てへ**

職員の心身のケアのため、**孤立させない・業務の偏りをさせないマネジメント**



\* 有事を見据え平時から

**何を準備する？ 何を变える？**

# “健康と安全を護る”排泄ケア

Point 1

“健康と安全を護る”ための

**3回交換・二人対応でのおむつ交換**

Point 2

3回交換成功の鍵を握る

**高機能尿とりパッドの選定**

Point 3

スキントラブルを未然に防ぐ

**1日1回の専用剤を用いた陰部洗浄**

# Point 1. 3回交換・二人介助 老健A様の事例

## ■ 3回交換・二人介助への変更点

- ・40床の認知症専門棟にて**おむつ交換を4回から3回へ変更**した。
- ・一人介助のケースが多かった為、**二人介助をルールとし徹底**した。
- ・**ベテランと新人がペア**になるように工夫。
  - ※介護、看護スタッフ全20名の勤務シフトは見直しせず。
- ・尿量が非常に多い方2名とお肌の弱い方2名、**計4名は4回交換での対応に戻した**。

業務	人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
おむつ交換 (変更前)			●					食事			●	食事	入浴			●		食事			●					
おむつ交換 (変更後)								食事			●	食事	入浴			●		食事						●		
尿とりパッド								一晩中ウルトラ						外モレさらさら					長時間プレミアム							
早番	3人																									
日勤	1人																									
遅番1	2人																									
遅番2	2人																									
夜勤	2人																									

## ■ メリット (現場の声)

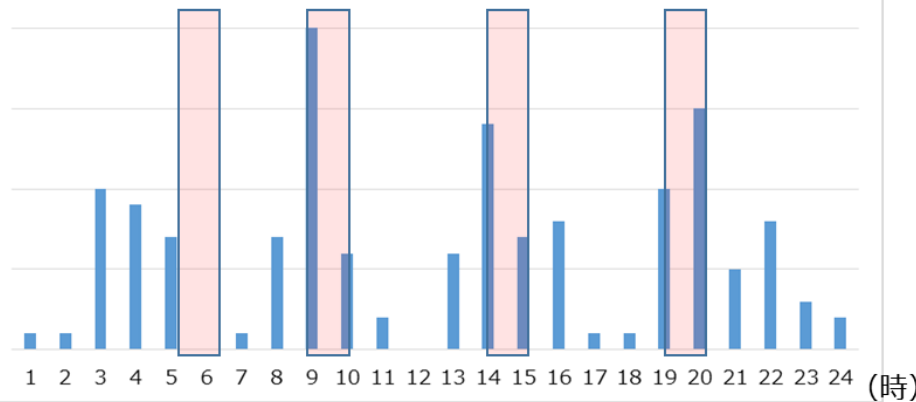
- ・気持ちに余裕ができ**精神的負担が軽減**した。
- ・**腰痛の軽減**や休憩の確保が可能となり**身体的負担が軽減**した。(労務負担の軽減)
- ・様々な**リスクの誘発抑制**につながった(利用者の安全と快適性向上が感じられた)。
- ・ケア**技術の格差が是正**された(おむつをキレイに早く当てられるようになった)。
- ・観察や排泄ケアのアセスメント**能力が向上**し問題解決に向けての**行動力がついた**。

# 交換時刻の実態と、推奨する時刻

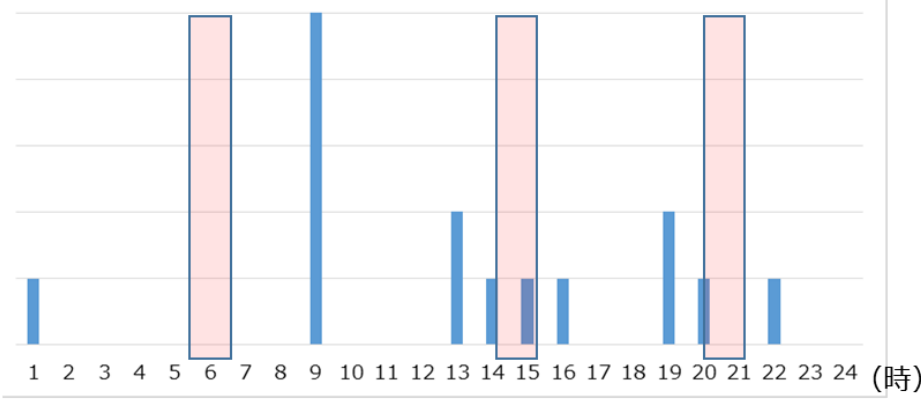
— 交換実態

■ 推奨する交換時刻

4回 交換施設・病院の交換時刻分布 (36軒)



3回 交換施設・病院の交換時刻分布 (5軒)



ご本人の生活リズムを整える

→ 4回交換を推奨

交換時刻の例

- ①起床時 5時～7時
- ②朝食後 9時～10時
- ③昼食後 14時～15時
- ④就寝前 20時～21時

肌への外的動力を最小限にし、

褥瘡の改善を目指す

→ 3回交換を推奨

交換時刻の例

- ①起床時 5時～7時
- ②昼食後 14時～15時
- ③就寝前 20時～21時

交換回数と時間は尿量測定結果に基づき決定

※データ：ユニ・チャーム調べ

# 1日3回のおむつ交換 – メリット –

## 生活リズムの調整

\* 夜間はぐっすり睡眠 / 日中は元気に離床

## 尊厳を護る

\* 何度も陰部をさらけ出す羞恥心への配慮

## ゆとりの創出

\* 心身の“ゆとり”から生まれるケアの進化

## 接触頻度の低減

\* 感染リスクの高い排泄ケアにおける接触頻度の低減

## PPE使用量の抑制



# 2人対応でのおむつ交換 —メリット—

## 感染リスクの低減

汚染を扱う“実施者”と清潔を扱う“介助者”に役割分担するので、誰でも簡単に実践可能で交差感染リスクが低減。

\* 清潔担当は使い捨てエプロン・手袋を使用しないので、使用枚数は1人対応の場合と同じです。

## 利用者の安全

利用者から目や手が離れないので安全・安心のケアが実現。

## 介護者の安全

介護者の無理な姿勢が無くなり、腰痛などの身体的負担も軽減。

## 質の高いケアの提供

2人の目と手で観察・細やかなケアが充実。  
丁寧かつスピーディーなケアが実現。

# 1日3回のおむつ交換 — 注意点 —

## ご本人の意向が第一優先

\* “ご本人の交換して欲しい” の声には答える

## 交換が必要な方には随時交換は必要

\* 排便頻度の高い方、尿量の多い方...

## 必ず高機能パッドを使用

\* モレ・肌トラブルを引き起こす交換削減はNG

### パッドNG

吸収量



大きさ



### パッド選択基準

- 1 吸収力 {
  - ・速い吸収スピード
  - ・リウエット※抑制機能}
- 2 適切な吸収量
- 3 付加価値

※ 臀部の体圧により一旦吸収した尿がパッド表面に染み出してくる

# おむつ交換回数削減が余儀なくされる場合

	出勤率90%	出勤率70%	出勤率50%	出勤率30%
排泄	ほぼ通常通り	おむつ交換 3回	おむつ交換 2回	おむつ交換 2回

長時間使用でもケアの質を担保しながらモレ・肌に安心

おむつ交換回数の削減が余儀なくされる場合でも、  
モレ・肌トラブルを発生させない

商品紹介動画



## 一晩中安心さらさらパッドSkinCondition



### ●肌への摩擦・ズレ力を低減 ※ 特許技術

「さらさらスライドシート」が「ドライメッシュシート」の上を自由に動くので、肌への摩擦・ずれ力を逃し負担を軽減します。

※体圧のかかった状態で身体がずれた時に肌とおむつの間にかかる力

### ●おしりさらさら長時間キープ

「ドライメッシュシート」が吸収後の尿の逆戻りを軽減するので、長時間使用してもおしりさらさら。

### ●不純物の混じった尿でもしっかり吸収 特許技術

「引き込み吸収ライン」「なみなみシート」が不純物の混じった尿をスピード吸収、モレ安心。



スーパー  
800cc



ウルトラ  
1000cc



エクストラ  
1500cc

# 体感実験

SkinCondition 吸収後のさらさら感をご体感ください！



- ① 上記セットをお手元にご用意ください。  
(SkinConditionスーパー・紺)



- ② ウェットタオルを袋から取り出し、2枚のシートの下に敷き込んでください。  
※写真では分かりやすく、封を破かずに敷き込んでいます。



- ③ シートの上からろ紙をのせ、圧をかけてみてください。

# 1日1回の陰部洗浄　ーポイントー

## 高齢者の肌の特徴

・皮脂分泌の低下



保護膜が弱くなり  
刺激を受けやすい

・細胞の水分量、保湿成分の減少



皮膚が乾燥し  
傷つきやすい

おむつ使用者の場合、浸軟・ズレ・摩擦・  
排泄物による化学的刺激などスキントラブルリスクが高くなる

陰部洗浄 3つの基本

洗浄

保湿

保護

スキントラブル対策

排便時は都度実施

尿路感染対策

人手の多い日中に実施

# スキンケアにはこちらを！！

## おしり洗浄液Neo

### 1 「洗浄・保湿・肌保護」の3つの効果でお肌清潔に、すべすべに保つ

- ◆ **洗浄** : やさしくきれいに汚れを落とす  
「天然ひまわり油由来の石鹼」配合
- ◆ **保湿** : お肌に潤いを与える  
「オウバクエキス」配合
- ◆ **肌保護** : お肌をすこやかに保つすべすべコート成分(リピジュア®)を配合。  
※リピジュア=ポリオクタニウム-51

### 2 すすぎのいらない簡単ケア

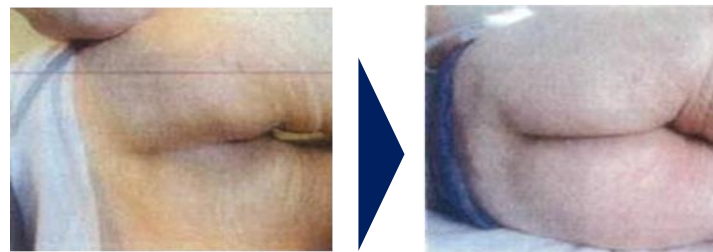


※シャワーボトルに、適温(40℃前後)のお湯あたり300mlあたり洗浄液ポンプ1プッシュ(約3.5ml)を希釈



青：さわやか石鹼調の香り  
緑：グリーンシトラスの香り

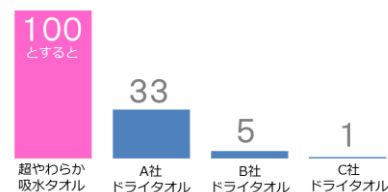
使用開始から2週間後



**1日1回+排便時には洗浄**

清拭には吸水タオルを・・・

●ドライタオルを濡らした場合の強度



# 感染拡大を防ぐために… 業務用さらさらからだふき

汚染されたものは極力その場で**密封**し、移動や別の場所での**再接触**を避ける



- ◆40cm×30cmの超大判サイズ！  
ホットキャビネットでも使用可能
- ◆細かい隙間もふき取りやすい
- ◆入浴日以外や感染症発生時の  
全身清拭にも



# 入浴介助を十分に行えない場合

	出勤率90%	出勤率70%	出勤率50%	出勤率30%
入浴	ほぼ通常通り	<b>適宜清拭実施</b>	<b>適宜清拭実施</b>	<b>特に保清必要な方に限定</b>

## 事前準備、事後の片づけが不要

使い終わったら、おむつと一緒に密閉、廃棄。  
感染源の排除ができるので、安心・安全。

定番サイズ

### おしりふき こすらずスッキリ



- ・しっかり丈夫で破れにくい
- ・18cm×20cm

1枚で身体もしっかり清拭

### さらさらからだふき



- ・30cm×40cmの超大判サイズ。
- 入浴介助が難しい時も、製品1枚でしっかり拭くことができます。

1枚でおしりすっきり

### おしりふき 超大判スッキリ



- ・1枚でスッキリふける大判サイズ。
- ・20cm×25cm

感染対策に最適

### お肌にやさしいウェットタオル



- ホットキャビネットに入れて、あたためOK。
- 個包装なので、感染対策にも最適です。
- ・25cm×30cm

トイレでも使える

### おしりふき トイレに流せる



- ・使用後は、トイレに流せて後処理簡単。
- ・18cm×19.5cm



# 入浴介助を十分に行えない場合

	出勤率90%	出勤率70%	出勤率50%	出勤率30%
入浴	ほぼ通常通り	適宜清拭実施	適宜清拭実施	特に保清必要な方に限定

## 排便時+1日1回陰部洗浄

### かんたん3ステップでスキントラブルを未然に防ぐ！

#### 洗浄・保湿・肌保護 オールインワン おしり洗浄液NEO



- ・300mlの微温湯に希釈し、洗い流すだけ。余分な皮脂を取りすぎない高齢者にもやさしい洗浄力。
- ・しっかり保湿し、乾燥や刺激から肌を優しく守る
- ・2種類の香りで洗浄するので、入浴できないご利用者様も爽快な気分になっていただけます。

#### やわらかい素材のドライタオル 超やわらか吸水タオル



- ・押さえ拭きで余分な水分と石鹸成分を吸収し、保湿、保護成分を肌になじませて残します。
- ・肌にやさしい。
- ・ぬれても破れにくい3層タイプ

#### アウターを汚したくない時に 吸収シート



- ・陰部洗浄時に、使用しているテープの吸収量が不安な時、どうしてもアウターを汚したくない時に…
- ・陰部洗浄1回分(300cc)をしっかりと吸収
- ・44cm×32cm

# シーツ交換が十分に行えない場合

	出勤率90%	出勤率70%	出勤率50%	出勤率30%
シーツ交換	ほぼ通常通り	順次・部分的に交換	汚れが目立つ時	罹患者優先

## シーツの上に1枚敷く

大きく吸収量のあるシートを使い  
シート自体を汚さない

### 大判タイプで安心 介護用シート

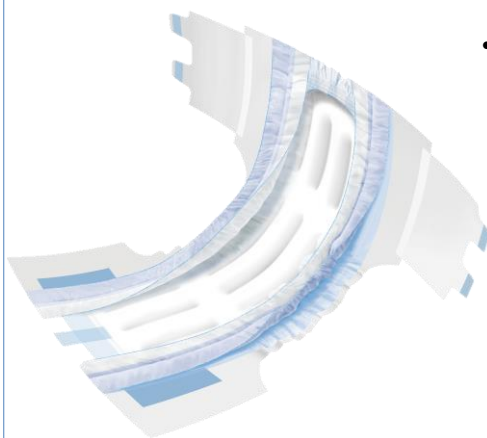


- ・60cm×90cm  
安心のシングルベッド幅まで覆うサイズ
- ・500cc吸収するので、  
大量のモレもしっかり吸収します。

## 排泄物をおむつからモラさない

泥状便・水様便のおむつからのモレ対策として

### ライフリー史上最高の便モレブロック率を実現 ライフリー横モレ安心テープ止め



Sサイズ～LLサイズの  
4ラインナップ

- ・背中軟便キャッチポケット搭載 **特許\***  
尿・便をせき止める空間体積アップ。  
軟便をせき止め、背モレを防ぎます。

- ・便の收容空間を作り **特許\*\***  
横モレ率が約半分にカット  
パッド内で行き場を失った便を2倍以上  
溜めることができるように改良。

\* 吸収体と背側ギャザーとの間の領域に、立体ギャザーの起立端部と係合部の長手方向中心とが位置している構成  
\*\* 吸収体より外側に立体ギャザーの起立支点があり、背側のウエスト伸縮部材と折り目が重ならない構成

# Agenda

1. 新型コロナウイルス感染対策  
～これだけは徹底しよう！～
2. 利用者・介護者を護る  
感染対策に配慮した排泄ケア
3. **感染対策に配慮したおむつ交換**
4. 最後に・・・

# 感染予防に配慮したおむつ交換マニュアル

## －マニュアルのポイント－



## 清潔と汚染を交差させない 人・物・場所の区分け

～感染リスクを可能な限りゼロに近づけるために～

### 1 2人対応

ヒューマンエラーを防ぐ人基軸での**清潔**・**汚染**の役割分担

### 2 手指衛生

正しい手法と適切なタイミングで**汚染**の手を**清潔**の手へリセット

### 3 ゾーニング

**清潔**区域と**汚染**区域をしっかりと分けて**汚染**拡大を防ぐ

# 手指衛生の正しい実施と適切なタイミング

## 手指衛生の基本は“流水 & 石鹸での手洗い”

\* 排泄物から検出される場合のある「クロストリディオイデス・ディフィシル」「ノロウイルス」「ロタウイルス」はアルコールに抵抗性のある病原性微生物の為、流水 & 石鹸での手洗いを行う必要があります。

## ケアの前後は“流水 & 石鹸での手洗い”の実施

## ケア中は“アルコールでの手指消毒”で代替

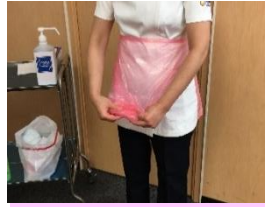
\* アルコール消毒は汚染の手を清潔の手にリセットし、清潔な物に触れる前に実施

## 2人対応によるおむつ交換 実施者の手指消毒



手袋を外しワゴン下段の汚物入れに入れる。

手指  
消毒



エプロンを外し、ワゴン下段の汚物入れに入れ、汚物入れを密封する。



手指  
消毒



服を着せ、枕等を整え、掛け物をかける。

この後エプロンを外す際に、清潔なユニフォームに触れる可能性があるため

この後清潔な衣服・枕等を整える為

# ベッドサイドの清潔・汚染区域のゾーニング

清潔・汚染区域のゾーニングで交差感染リスクを大幅に低減



ゾーニングを行わなければ・・・

人・物を介して汚染区域が拡大しクラスター発生リスクが高まります



## マニュアルにおける ゾーニングの工夫

ゾーニングの基本ルールに基づき、ベッドサイドにワゴンを活用して上段を清潔区域、下段を汚染区域に区分けしています。

清潔



汚染



# マニュアルの流れ



※ケアの前の初めに“流水&石鹸の手洗い”



※実施者（汚染担当）のみ手袋・使い捨てエプロンを装着

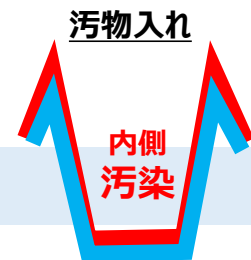
※抵抗の強い方・側臥位排尿の有る方などは介助者も実施者同様にPPE装着  
 ※激しい下痢症状のある方など疑わしき方に関しては、実施者・介助者共にPPEを装着し、エプロンは長袖のものへ、追加でゴーグル等も装着。

※ワゴンは介助者（清潔担当）側のベッドサイドに設置

・ワゴンの上段を清潔・下段を汚染区域に  
 （原則）垂直方向は上が清潔・下が汚染



※汚物入れは間口を折り返し、ベッド足元へ配置



・汚物入れも汚染と清潔にゾーニング

外側  
清潔

# マニュアルの流れ



＊ **介助者**は洗浄液が飛び散らないようにやさしく流す

※お身体の面に垂直にボトルを当てると液が跳ねるので、お腹側から斜めに身体に沿って、あまり強く押して水圧をかけ過ぎないように流す



＊ 吸水タオルを**介助者**から**実施者**へ

・介助者が上から実施者が下から受け取っている  
(原則) 垂直方向は上が清潔・下が汚染



＊ **介助者**は洗浄を終えたら洗浄ボトルをワゴン下段へ移動

(原則) 汚物は速やかに除去する



# マニュアルの流れ



\* **実施者**は使用済みおむつを全て取り除いた後は、汚物入れをワゴン下段まで運び、汚物入れを密閉

(原則) 汚物は速やかに除去する



\* **実施者**は手袋を外した後、エプロンを外した後、それぞれで手指消毒を実施

(原則) 清潔な手へのリセット



\* ケア終了後は、ワゴン消毒と“流水&石鹼の手洗い”で終了

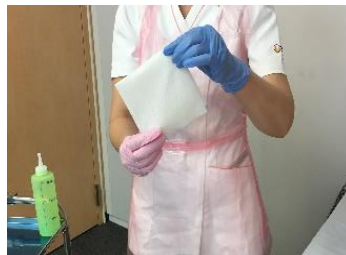
(原則) 菌を持ちださない・持ち込まない

# 1人対応のおむつ交換 **— 注意点 —**

**清潔と汚染の手に分けたケアを行い、  
清潔と汚染の手が交差しないように十分注意します。**



\* つい両手でパッドを取り除いてしまう。



\* 清潔エリアに置いてある吸水タオルを汚染の手で無意識に取ってしまう。



\* つい両手で捨ててしまう。

**利用者が側臥位の状態で介護者の目や手が離れる場面があるため、  
必ず安定した側臥位をとれる人に限定し、都度声掛けや観察を行います。**



\* 使用済み物品を汚染区域に置く時  
\* 汚物入れを密封する時



\* 使用済みのテープ止めおむつを取り除く時



\* 臀部の洗浄時

# Agenda

1. 新型コロナウイルス感染対策  
～これだけは徹底しよう！～
2. 利用者・介護者を護る  
感染対策に配慮した排泄ケア
3. 感染対策に配慮したおむつ交換
4. **最後に・・・**

# 教育支援（１）スキルアップに対するフォロー体制

## 現場での課題改善取組み

### ①排泄委員会での課題共有・改善

排泄委員会での目標設定や患者様ごとの課題改善、排泄やスキンケアに関するご相談を承ります。



### ②現場での交換立会い・アドバイス

モレなどが発生した場合や新しい職員様が入られた際は実際に現場で交換立会いでのアドバイスをさせていただきます。



※現在感染対策上、中止中

### ③勉強会・研修実施

新人研修から感染予防までご要望にあわせた勉強会を実施いたします。（右メニュー参照）

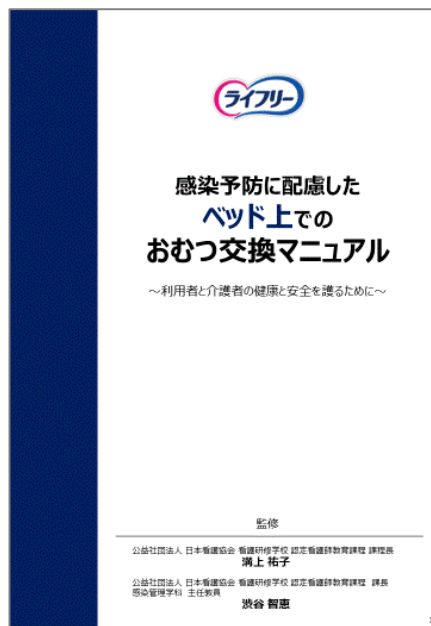
## 排泄ケア勉強会 コース例

- ①排泄ケア概論Ⅰ
- ②「知る」からはじまる排泄ケア
- ③おむつの選び方と正しい使い方
- ④高齢者のスキンケア
- ⑤実践！スキンケア～陰部洗浄のすすめ～
- ⑥排便ケア概論
- ⑦排便コントロール
- ⑧排泄ケアにおける感染予防
- ⑨排泄ケア概論Ⅱ
- ⑩自立排泄スタートライン  
～テ°止めからリハビリパ°ツへ～
- ⑪成功に導く排泄環境のつくり方"
- ⑫チームで支える排泄ケア
- ⑬自立排泄支援のコツ

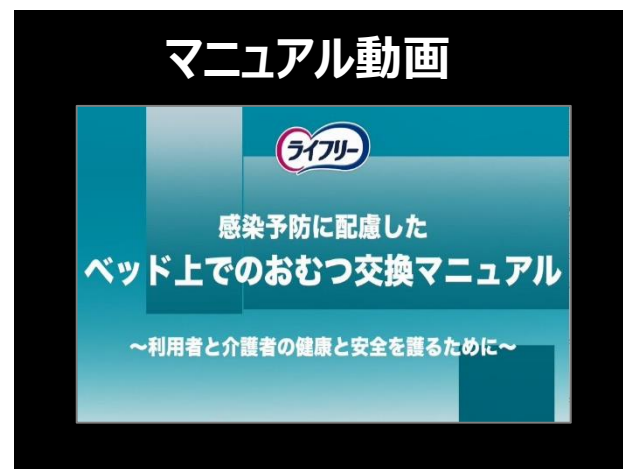


# 教育支援（2）感染対策を踏まえた排泄ケア

感染対策において最も重要な“手指衛生”・“ゾーニング”を手技に落とし込み、実践形式で感染対策を学ぶプログラムをご用意



マニュアル冊子



\*リモートでの勉強会も実施可能  
\*おしり人形をお貸し致します

※日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程 課程長 溝上祐子先生  
日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程 課程長 感染管理学科 主任教員 渋谷智恵先生 監修

# オンラインセミナー実施実績

従来のように、院内での研修が困難になったいま  
開催場所を問わず、勤務先・ご自宅から参加できる  
オンラインセミナーを開催（下記、愛知県内での実施実績）

ZOOM 開催

オンラインセミナーのご案内

受講料 無料

感染予防に配慮した新しい排泄ケア  
～利用者と介護者の健康と安全を守るために～

ZOOM 開催

オンラインセミナーのご案内

受講料 無料

感染予防に配慮したおむつ交換手技  
～清潔と汚染を正しく理解し、おむつ交換に活かそう！！～

オンラインセミナーのご案内

リハ職からみたオムツの選定  
～Let's Go To トイレ～ ライフリー

2月 オンラインセミナーのご案内 ライフリー

やりたいケアのための引き算！

職員・利用者には  
選ばれる  
施設・病院であり続けるために  
明日からできること

参加費 無料

ZOOM オンラインセミナーご案内



『やったらできた!!』の発見  
～みまもるケアで残存機能を活かす～

自立支援

重度化防止

真の意味の  
トイレ誘導

各ご施設様向けの  
オンライン勉強会も実施可能です



**本日の勉強会の内容に関するご質問や、  
商品・サービスでのお問合せ・サンプルの問い合わせは下記まで  
お願いします。**

**<お問合せ先>**

**ユニ・チャーム 中部支店 森正敬之**

**Tel : 090-5558-8671**

**[takayuki-morimasa@unicharm.com](mailto:takayuki-morimasa@unicharm.com)**